

スマートフォンの安全な使用に関する調査結果（概要）

☆使用実態・危害等のインターネットアンケート調査

調査対象:スマートフォンを日常的に使用している 10 代以上の都民（男女計 1,005 人） 調査方法:インターネット形式

- ・スマートフォンの世帯保有状況は、平成 26 年度に 64.2%※1
- ・平成 22 年の調査開始時から増加傾向
- ・スマートフォンに関する危害危険の相談数は 5 年間(平成 22 年～平成 26 年)で全国 525 件(都内 87 件)（PIO-NET※2 より）

※1 総務省「平成 26 年度通信利用動向調査」情報通信機器の保有状況の推移(世帯)より
※2 PIO-NET：全国消費生活情報ネットワークシステム 平成 28 年 7 月 26 日までに登録されたデータ

使用中や充電中に発熱！ 中にはやけどをした人も！ 充電中には発煙発火も！ （報告書 P.5～10）

☆スマートフォンによる、ケガ、やけどをした経験、危なかった経験等（図 1、2）

- ・ケガ、やけどをした経験、危なかった経験等があったとの回答は 70 件
- ・経験があった中の約 7 割(47 件)が発煙・発火・発熱によるもの
- ・場面別での最多は充電時の 37 件
- ・充電中では発煙、発火したケースや発熱によりやけどしたケースもあった。

こんな使い方で発熱しています

充電しながら寝たら端末が腕の下にあり、発熱しやけどした。	30 代男性
充電しながら携帯を使っていたら高熱になり、指をやけどし皮がむけた。	30 代男性
充電中のスマートフォンを枕の下に置いたままで寝てしまって、気がついたらスマートフォンが熱くなった。	30 代女性

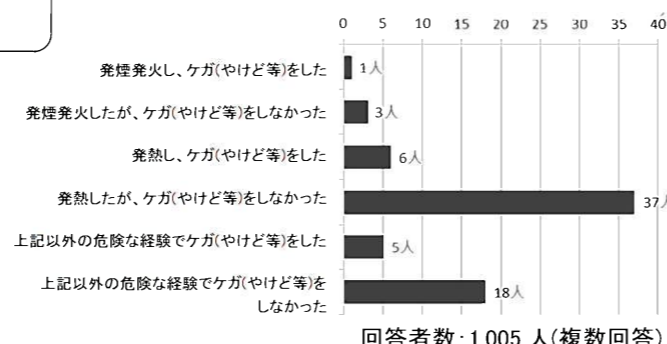


図 1 スマートフォンによる、ケガ、やけどをした経験、危なかった経験等の状況

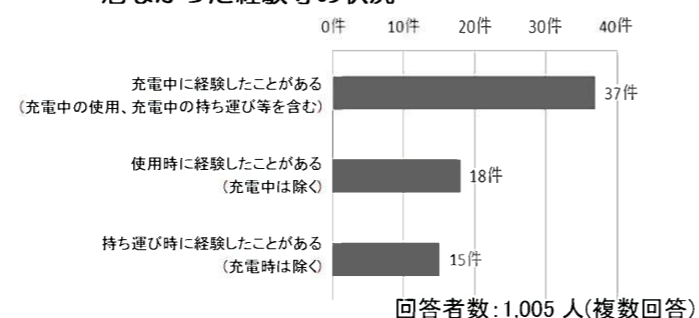


図 2 スマートフォンによる、ケガ、やけどをした経験、危なかった経験等の場面

安全な使用に関する注意事項を読んでいる人が 7 割以上 （報告書 P.11）

☆安全な使用に関する注意事項の確認状況（図 3）

- ・「読んだ」と回答した人は 26.9%
- ・「見たことはあるが読んでいない」又は「見たことも読んだこともない」と回答した人が 7 割以上

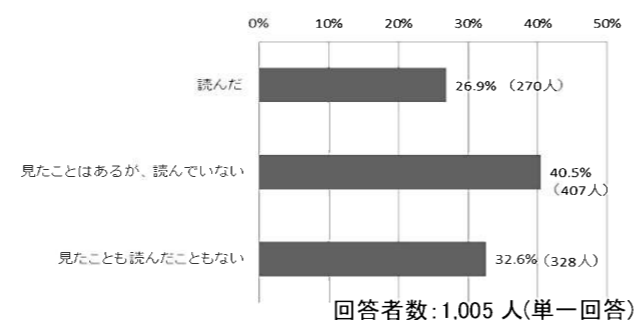
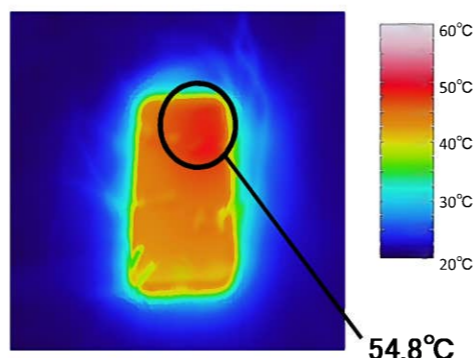


図 3 端末の安全な使用に関する注意事項の確認状況

毛布に包んだスマートフォンは、低温やけどが起こり得る温度まで上昇 最高温度は 50℃を超えました （報告書 P.27～63）

☆スマートフォン 3 検体を用いてアプリケーション(動画撮影及びゲームアプリケーション 10 種類)を起動し、毛布で包んだ状態における温度上昇の調査

- ・最高温度は 50℃を超え、長時間接することで低温やけどが起こり得ると言われている温度※まで上昇
- ・体温と同等の温度を与えた場合には、最高温度に達するまでの時間が短くなる傾向



※ 44℃では 3～4 時間
46℃では 30 分～1 時間
50℃では 2～3 分で「低温やけど」になるといわれています。

(出典：山田幸生「低温やけどについて」製品と安全第 72 号、製品安全協会)

最高温度と到達時間

アプリ起動	充電	体温	試験検体A	試験検体B	試験検体C
○	○	○	49.8℃ (47.0分)	50.1℃ (18.3分)	47.3℃ (39.2分)
○	○	—	52.9℃ (59.6分)	53.3℃ (70.4分)	52.1℃ (47.2分)
○	—	○	45.7℃ (38.6分)	48.5℃ (39.3分)	46.8℃ (23.1分)
○	—	—	47.7℃ (50.3分)	54.8℃ (113.2分)	48.3℃ (60.3分)
何もしていない状態			22.6℃ (0分)	25.3℃ (0分)	26.2℃ (0分)

※0 内は、最高温度に達するまでの時間

火災ややけどの原因となる使い方に危険だと思っていない場合も！ （報告書 P.13）

☆取扱説明書等で示されている危険な使用方法等を参考に危険だと思う使い方に関する調査（図 4）

- ・火災ややけどなどの原因となる「使用中や充電中に布団などで覆ったり包む」を危険だと思っている人は 27.2%
- ・火災ややけどなどの原因となる「汗による水濡れ」を危険と感じている人はいずれも 30%未満(いずれも 7 割以上は危険と思っていない)

水濡れによる危害・危険事例(参考)

スマートフォンを充電中焦げ臭くなり本体と充電器の接続部分が焦げて溶けていた。検査報告では水分が原因という。

スマートフォンを他社製 AC アダプターに接続して充電中、スマートフォンと周辺を焼損する火災が発生し、1 名がやけどを負った。充電端子に液体成分とナトリウム成分、塩素成分が検出された。

2 年前に購入したスマートフォン。3 か月前、充電中に煙が出た。苦情を伝えたら、汗が原因という。

※事故情報データベースシステムより

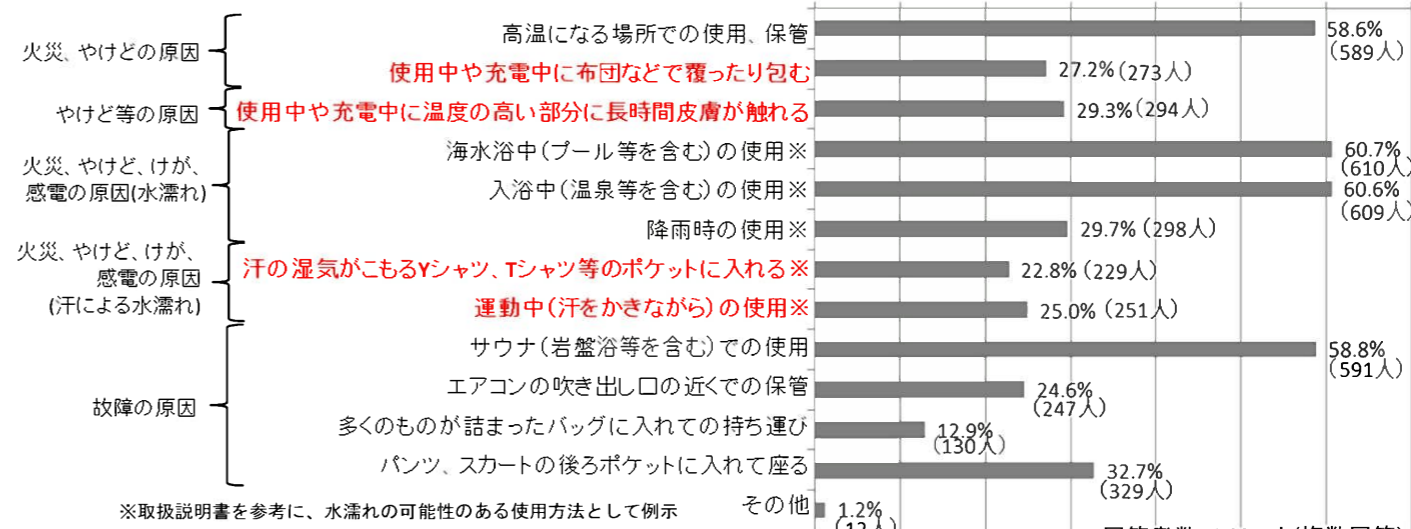


図 4 危険だと思う使い方

就寝中、ベッドや布団などの上に端末を置いて毎回充電している人は約 2 割 （報告書 P.14）

☆スマートフォンの就寝中の置き場所と充電頻度（図 5）

- ・「ベッドや布団などの上」に置いてると回答した人は 356 人(35.4%)
- ・ベッドや布団などの上で「毎回充電している」と回答した人は 187 人(18.6%)

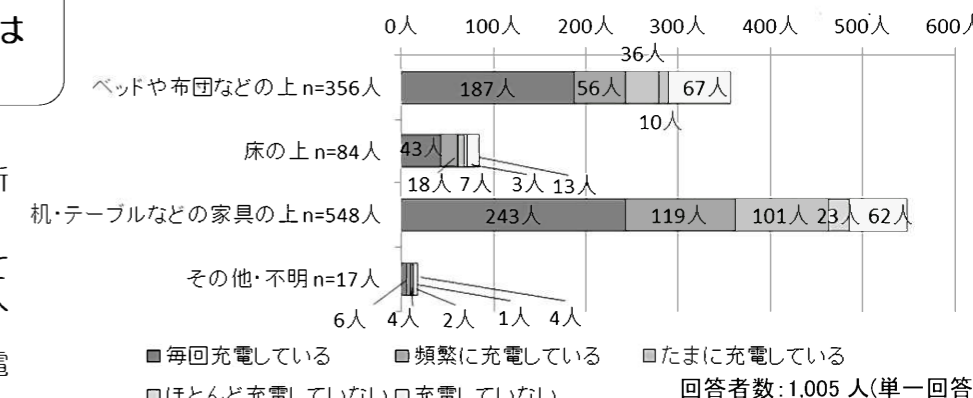


図 5 就寝中の置き場所と充電頻度